ド級編隊
エグゼロス
EXEROS
きただりょうま
2
JUMP COMICS SQ.

級編隊
エロス
H×EROS
×2
きただりょうま
JUMP COMICS SQ.

H×EROS Characters

H×EROS EROSをHネルギーに変え、キセイ蟲と戦うヒーローチーム。

HXEPINK

桃園百花

エグゼピンク

何でもできる姉への対抗心から、ヒーローへの誘いを受けた。

HXEYELLOW

星乃雲母

エグゼイエロー

幼い頃のトラウマで、エロに拒否反応を示す。烈人とまた一緒に居たいと思い、ヒーローに。

HXERED

炎城烈人

エグゼレッド

幼馴染の雲母を変えてしまったキセイ蟲が許せなくて、ヒーローになる。雲母の事が好き。

Story

地球はキセイ蟲による侵略を受け、かつてない危機に瀕していた。しかし、そんな敵と日夜戦い続ける少年少女の姿があった。彼らの名はH×EROS。そのメンバーである少年・烈人は、幼馴染の雲母と一緒に居たところ、キセイ蟲の襲撃に遭い、その戦いの中で雲母にもヒーローとしての素質がある事が判明する。かつてキセイ蟲に襲われ、Hネルギーを吸われた過去を持つ雲母はヒーローになる事を一度は拒むが、その時から疎遠になっていた烈人とまた一緒に居たいと思い、メンバーに加わるのだった!

庵野 丈

地球防衛隊サイタマ支部HERO課、課長。烈人の叔父。

キセイ蟲

人間のエロスの源"Hネルギー"を奪い、絶滅を目論む宇宙人。

HXEBLUE

天空寺 宙

エグゼブルー

時々、寝ぼけて烈人の布団に潜り込む天然系少女。

HXEWHITE

白雪舞姫

エグゼホワイト

いつも笑顔を絶やさない、大人しい女の子。

contents
HXEROS

第5話

夜は短し惣気よ乙女

時は この日の放課後に遡る
いや～ それにしても まぁ～
まさか あの雲母が 勝負下着が欲しい なんて相談して くるとはねー
もういい でしょ…！
学校から ここまで散々 笑ったんだから…
別に笑ったん じゃなくて嬉し かったんだよ
雲母がまた そういうことに 興味持つように なって
だから別に そういう訳じゃ ないんだけど…

はいコレ選んどいたよ
ありがと……
でやっぱ相手は他校の人？
!?
うちのクラスの男子は皆まだガキだからねー
ちっ…違うって…！
じゃあ大学生とか――
まさか社会人じゃないでしょうね…!?
ま
そういうことにしといてあげよう
シャッ
当たり前でしょ！

ッ!?
ほ…ホントにこれ…!?
勝負下着なんだから キワどければキワどい程いいの!
だからって…
これはちょっと
キュン
攻めすぎじゃ…
いいじゃんどうせ好きな人にしか見せないんだから
べ…別に私は好きな人に見せる訳じゃないし…!
その方がどうかと思うよ雲母…

ありがとうございました〜

そういえば夕奈
放課後デートとか言ってなかった？

結局違うのにした

ああうん大丈夫

ちゃんと待ち合わせ場所はこの辺にしてもらったから

それにしても夕奈のデート相手って一体どんな人なんだろね…

ひそひそ

確かに…

あっ先輩！

！

やっほー夕奈

たっ

私も丁度今来たとこでま～く
デレ
デレ
ゆ…夕奈らしいっちゃらしいな…
うん…
それじゃあ雲母っ！
頑張って♥
？
！
さ 行きましょう先輩っ♥！
……
そういう陽香はどうなのよ？
!?
私はほら…部活優先だし…

現在——

一体 何が起こってるんだ……!?

なんであの星乃が下着姿で俺の部屋に……

いや…これは絶対俺の夢…

きっと連日振り回されっぱなしの俺に脳からご褒美が——

………

……と…… とりあえず横いい…?

あっはい

は!?

今なんて

言っとくけど… 変な期待しないでよね…

コレは別にあんたのHネルギーの為じゃなくて…

私のHネルギーの為だから…

それにしても
その格好は…
これは
その…
!?
その方が
溜まりがいい
からって…
桃園さん
が…
アイツ
〜〜〜ッ
ど
ドドン
だからって…
絶対こっち
向かないでね
……!
わ…
わかってる
よ…!

どうしてこんなことに――
そういや昔も
こうして星乃と二人っきりで寝たことがあったっけ…

くんくん
パチッ
むくっ
いっけね…
宿題の途中なのに
寝ちゃってた…
星乃の奴から
誘ってきたのに
自分も寝てるし…
ピコーン
いつも
弄られてる
お返しに
顔に落書きして
笑って
やるぜ…！
そーっ

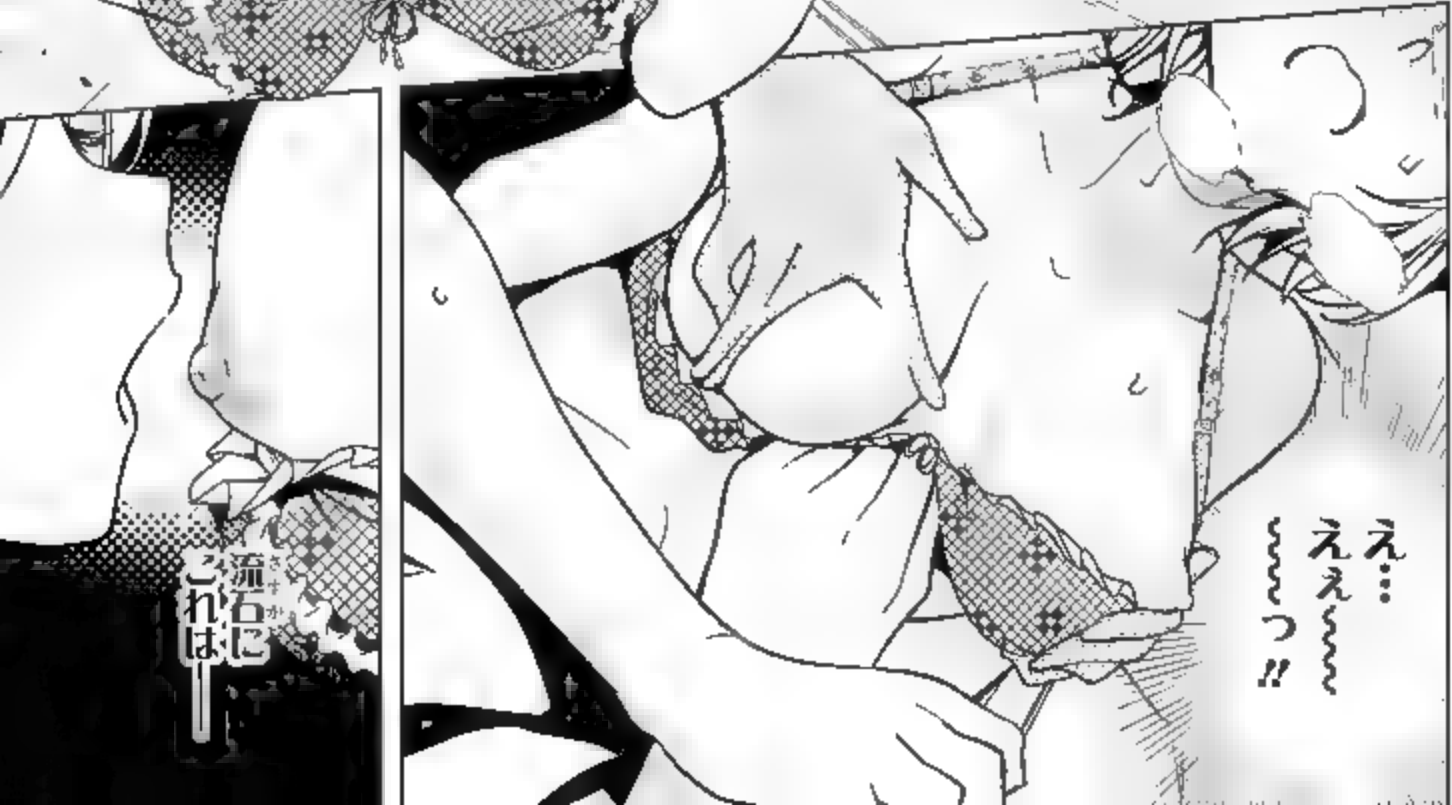
…………
無防備だとこんな顔してるのか……
今までこんなマジマジ見たことなかったけどコイツ…
ゴトッ
ドッ
ドッ
ドッ

ブッ
あっはっはっは！
おっかしー
なあに？
れっくん
さっきから固まって…
一体何をしようとしてたのかなぁ？
は…
はあ!?
たったただ寝顔が可笑しかったから落書きしよーとしただけだよ！
ふーん
それじゃいいよ…
…しても…

ドーゾ
はい
う…
……
うおおおっ!!
あーもう
なんだか気が
済んだわ…!
それじゃ
おやすみっ!
ヘタレ

まさか この状況で
あの黒歴史のことを
思い出すなんて…
あの頃は
なんとも
無かったけど…
私たちはもう…
小学生じゃ
無い訳で…
えっ…
炎城…!?
すっ
むにゅ

ンッ…
他の部屋に聞こえちゃうし……！
たっ…たたた確かにこっち向かないでって言っただけで…
触らないでとは言ってないけど…
まさか炎城がこんなことするなんて…
Hネルギーの為とはいえ…声は…我慢しないと…
ムニュ
ムニュ
タッ
!?
ポロッ
え…ええ〜〜〜っ!!
流石にこれは―

パク
!?
っていい加減調子に——
おなかいっぱい…
は?

むにゃむにゃ…
またお前か天空寺!!
あれ…?
二人共…宙の部屋で何してるの…?
そんなことよりいつからそこに…!?
トイレから帰ってきてからずっと寝てたよ…?
だからお前の部屋は向かいだって…!
ってことは最初から――!?

二人で何してたの？
わっ…私も自分の部屋と間違えちゃって…
まままったく気をつけてくれよー（棒）
あははっそれじゃあ失礼しましたッ
ささーっ
ほら天空寺…お前もさっさと自分の部屋に戻っとけ！
眠いからだっこしてってって
むぎゅっ
おいッ引っ付かないで自分で歩けっ‼
えー
ミシッ

…はぁ…
あれだけ覚悟して行ったのに、
そもそもなんでもう先に他の女の子が部屋にいるのよ…！
結局中途半端な感じで終わっちゃった…
炎城の——
ポフ
ボーーッ

バカ
ぺしっ

あ…
パラパラ

しーん
はっ!?
せっかく溜めたHネルギーも
買ったばかりの下着も無駄にしちゃった…!
頑張って勇気出したのに〜〜〜〜っ!
キラ
後日――
まさか あの強化防壁を貫くとは
やはり君の素質は素晴らしい!
全っ然嬉しくないんですけど…!

第6話
早乙女女学院の白雪姫

キショショ…
ついに捕らえたぞ
エグゼホワイト
くッ…
さあ
命が惜しくば
仲間の居場所を
吐きなさい
そんなの…
絶対に言い
ません…!
!?
ここはこんなに
柔らかいくせに
口だけは堅い
ようだな…
ふにっ

お前のような
身体の人間は
存在自体がキセイ
対象だからね…
もう二度と
我々に逆らえ
ないように
この触手で
徹底的に懲ら
しめてやろう…
じわぁ
んっ
…!
ここまで
ですか…
百花ちゃん
宙ちゃん
星乃さん
炎城さん
ごめん
なさい…

ん…
ヴヴヴヴヴヴ
ヴヴヴヴッ
何してるのルンバちゃん…？
ペロペロ
べと一っ

もうっ
ルンバちゃんの所為で変な夢見ちゃったじゃないですか…
ヴォオオオオオ
モフッ
おはっすー
ガラ
おっ…おはようございます
ちょっと顔洗わせてくれ
ずい
ピトッ
ひゃんッ
ガシャン
!?

私の名前は白雪舞姫
どこにでもいるような普通の女子高校生
兼HEROです
まだドキドキしてます…
たっ
おっはよー舞姫っ！
ふあッ!?
オレンジってことは今日は火曜日か
人の下着をカレンダー代わりにしないでくださいっ！
誰かに見られたらどうするんですかー!!
ポヤ
ポヤ

乙女女学院
いいじゃん いいじゃん
もう学校の敷地の中なんだし
おっは!!
彼女は保谷千夜
この早乙女女学院のプリンス的存在にして
私の幼馴染です
もうっ千夜ちゃんったら…
そういや今日はいつもの黒タイツは?
!?
今朝は ちょっとドタバタしてて…っ!
ちなみになぜこうもドジで特技も長所もない私がHEROなんかになれたのかというと――
書道

ジャッ

ふぅっ…

シュッ

平常心（へいじょうしん）

平常心（へいじょうしん）…

ふうっ…こんなもんかな
はわぁ……流石千夜様
何をやらせても達者ですぅ
どう？舞姫は
はっ！
っていつまですってんの…？
大丈夫？なんだか今日顔赤くない？
そっそうですか…？別になんともないですけど…
もしかして足でも痺れてるとか？
またまた強がっちゃってー！
つんっ

はぁあん……ッ♥
ヤアァアァア!!
しし
あ…ごめ…
私達ヒーローチーム〝エグゼロス〟は人のEROSを感じる素質が力になるらしく
キャーッ
だからなんの取り柄もない私がHEROを名乗れているんです…
やっぱり今朝の夢の所為でちょっとおかしいみたい…
今日は大人しくしてないと…
はーっ
どした? まだ着替えないの 舞姫
次の時間体育だぞ?
へ…?

お美しい…
やっぱスポーツ
学問 芸術 なんでも
出来るわよね
千夜様は…
キャー♥
キャー♥
それに
引き換え

声小さいよー白雪さんー
すっすみません…っ
ガ!!
あいたっ!
ててて…
ストップストップ!
大丈夫舞姫!?
は…はい…
なんであんな落ちこぼれといつも一緒にいるのかしら…
ヒソ
ヒソ

はーっ
気にするなって舞姫
いつかあんたにも得意なこと見つかるし
皆が知らないだけで長所だっていっぱいあるんだからさ
例えば…？
例えば…
仕草がいちいちエロいこととか
胸がでかいこととか…
安産体型なこととか…
なんか偏ってません…？

それか試しに
色んな部活とか
入れば良いん
じゃない？
そうすれば
新たな才能が
見つかるかも
…いえ…
いいんです…
私が入ると
皆に迷惑かけ
ちゃいますし
ずーん
どこまで
謙遜するんだ
お前は…
ま私は
その優しさ
嫌いじゃ
ないけどな
それにっ…
放課後はバイトで
忙しいですから
ほーん…
いい加減
教えろよ そのバイトーっ
もみ
もみ
もみ
もみ
もみっ
そっ
それだけは
絶対駄目
ですっ!!

一方その頃の炎城烈人──
逃げてるだけで全く反撃してこないぞ…
キショ…
なんだこのキセイ蟲…
私を追い詰めてるつもりでしょうけどね人間…
折角だからそろそろ見せてあげるわ…
とっておきの奥の触手を…
!?

ピンポンパンポーン
只今校内に不審者が侵入した模様です
全生徒は体育館に避難して下さい
繰り返します――
不審者だって…
怖ーい
ヴヴッ
!!
これは・キセイ蟲の反応…！
ということは…
不審者の正体はキセイ蟲…!?
な～んで不審者なんかにそこまでしなきゃいけないんだろうね～
やっぱり時代なんかね～
舞姫もそう思わない？

あれ・・・
舞姫・・・？
ざわ
ざわ
キャー
キャー
いやあっ！
なんだい ここは
雌しか居ない
じゃないか・・・
キセイ
し甲斐のない
場所だね

ギュバババッ
やっぱり現れましたねキセイ蟲…
私がここにいるからには…これ以上好きにはさせません!
星乃さんの最近よく学校を襲うという話は本当だったんですね…
さっきの奴は触手応えが無くて退屈だったし
今回は少し触手加減して遊んでやろうかしらね
!?
それってどういう―

ひゃあッ！
なんですかこれ…っ!?
あ…この感じ
今朝の夢と同じ――

って駄目駄目ッ
バチッ
はあっ！
！
どっ
どっ
痛っ
どさっ
はぁっ…
はぁっ…
危ない所でした…
あやうく正夢になるかと…
ビキビキッ
く…
苦しいっ
！

その声はもしかして……

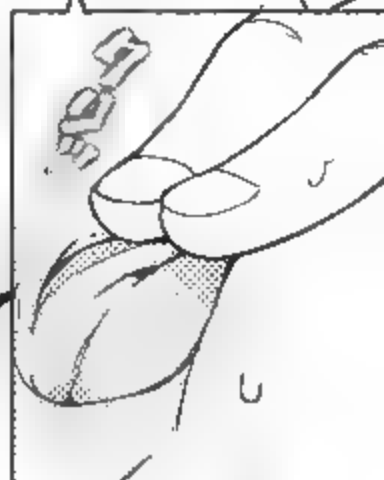
炎城さん!?

どうしてそんな姿に……

というか大丈夫ですか!?

ああ…お陰で助かった…

俺も気が付いたらこんな姿になってたんだけどおそらく…

おそらく…この学校の生徒かも…
フフッその通り！
私の力はHネルギーを吸った人間を触手化する能力
こうして増やした触手でHネルギーを吸い取り
また新たな人間を触手化してゆく
これぞ名付けて人類総触手化計画!!!
な…なんて気の長い計画なんだ…
さぁこの触手の網をかいくぐって
私に攻撃出来るかしら…？

き…来たぞ白雪ッ！
大丈夫…要は近づかなければいいんですよね？
！
スッ
それなら私の得意分野ですから
私に出来ること…
私にしか出来ないこと…
今日の私なら大丈夫…！
学校の皆は私が守りますっ！
スゥゥゥゥッ

〝グラマーズ砲〟

馬鹿なあ
あああッ
〜〜〜ッ!!!
ビリ
ビリ
や…
やった！

えええ炎城さんッ…!?
わっ悪い白雪っ!
んッ…
ギュッ
はっ

てててて
ううん…
!?
きゃああ！ 不審者〜
大丈夫!? 白雪さん
は…はい… 大丈夫です
事情はよくわからないけど 舞姫
あんたも やっと見つけた みたいじゃん
すいません っしたー!!
自分の得意なこと

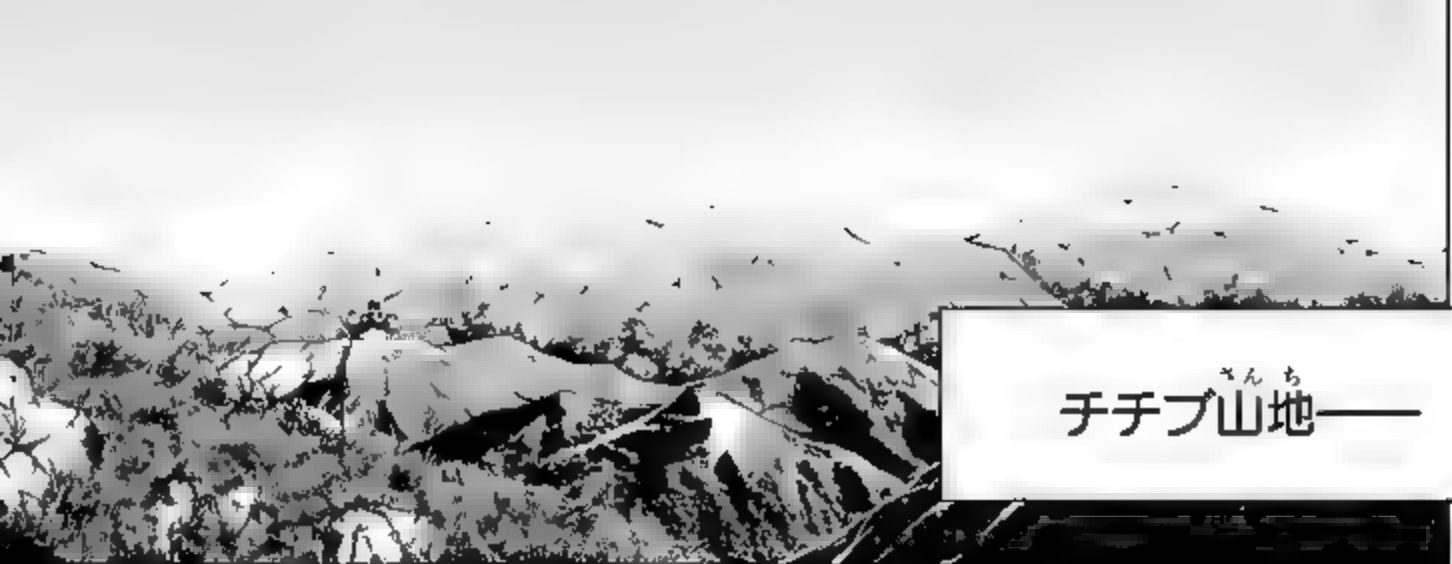
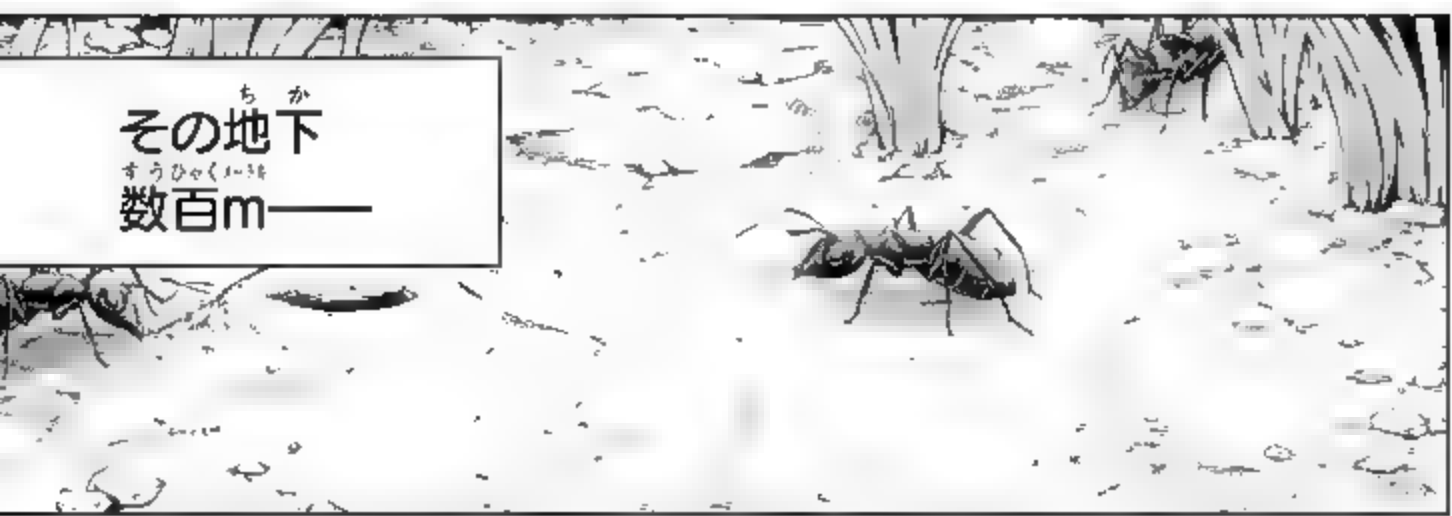
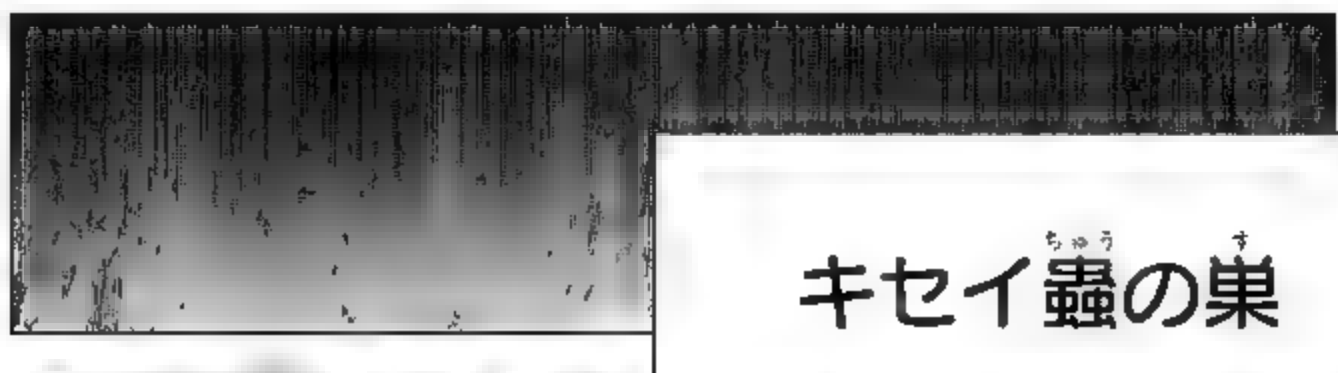
どきゅうへんたい
ド級編隊

エグゼロス

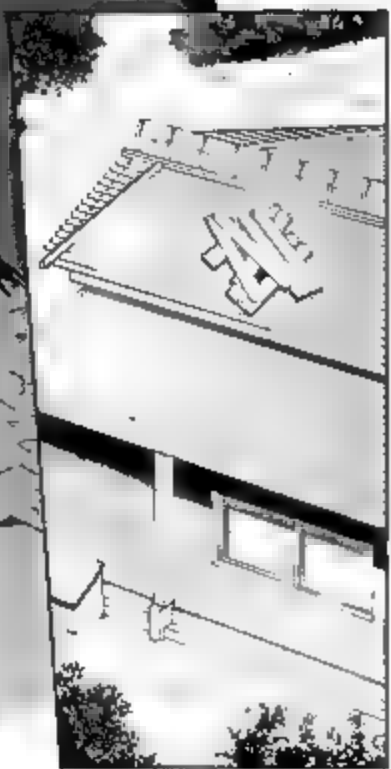
HXEROS

第7話
空の色、星の色

<ruby>ド級編隊<rt>どきゅうへんたい</rt></ruby>エグゼロス

HXEROS

まさか人間が
これほどまでに
しぶといとはな…

我々の目的は
忘れてない
でしょうね？
はっ
女王様
地球人が繁殖に
必要とする
Hネルギーの
摂取を阻害し
絶滅させ
この惑星を
侵略することで
あります
その通りよ
地球人は
正面から争うには
数が多すぎる
その為には まず
エグゼロスとかいう
邪魔者を
何とかして頂戴
ご安心下さい
奴らを
まとめて排除する
良い計画が
あります
期待
してるわ

肉欲に塗れた
愚かな
人間共よ……
お前たちの
三大欲求の内の
一つが消滅する
日も近い――

炎城
き…昨日のことだけど…
あの日の私は切羽詰まってたというか…
気が動転してたというか…
ともかくあれは本当の私じゃないから!
わかった!?

……わかったから少し離れろって…
ぽっ
!?
なっ
何考えてんのよ変態…
まさか あの星乃がこんなことで反応するなんて…
しししし
なっ!? それってどういう意味よっ!
っっっ
お前もじゃねえか
じっ

じー
すっ
……?
見(み)つけた
!

理想のHロイン
なっ…
♪
なんなのこの子〜〜〜〜!?

どうやら気に入られちゃったみたいですね星乃さん
あれ…そういう意味だったの…？
それが私達もよく知らなくて…
宙ちゃん…自分のことはあまり話さないから…
コト
星乃さんと炎城さん以外は出会ってまだ数か月ですから
お互いを知るのにまだ時間が必要ですよね

でも
これから皆
仲良くなれば
私トロくて
ドジですけど
ここの生活も
楽しくなると
思うんです
もっと星乃さんと
仲良くなりたい
なーなんて…
そうよね…
ここでやってくには
他の人のこと
もっと良く
知らないと…
こーら
ルンバちゃんは
自分のを
飲みなさい
ぼじゃっ
あっ
モっ
モっ

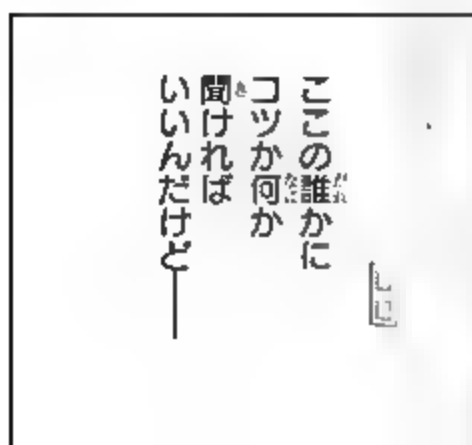
モフッ
…こらっ…
そんなトコ舐めちゃ——
ペ
ペ
ペ
あ…ッ！
ペ
ペ
あっ〜〜
……とりあえず白井さんはこういう人……と。

だけど…
私も他人のこと言えないのよね…
悩んでたとは言え…
私もこの間――
あ～もうなんであんなことしちゃったんだろう～…!!
ジャ

ただいま
はー…
今日はすごい質問攻めだった…
上手く誤魔化せてればいいんだけど…
炎城とも気まずいままだし…
まずは自分でHネルギーをコントロール出来るようにしないと…
ここの誰かにコツか何か聞ければいいんだけど――

って…まだ誰も帰って来てないか…
あっ！
コラッ そんなことしちゃ駄目でしょ！
ガタッ
バサササ
全くもう…
ん？

こ…これは…！
ガチャ
ジャー…ッ

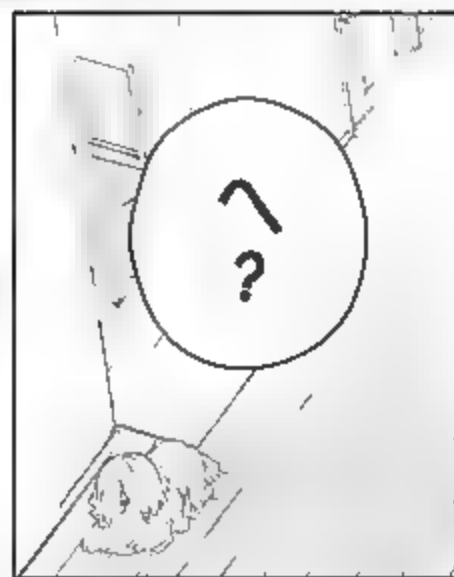
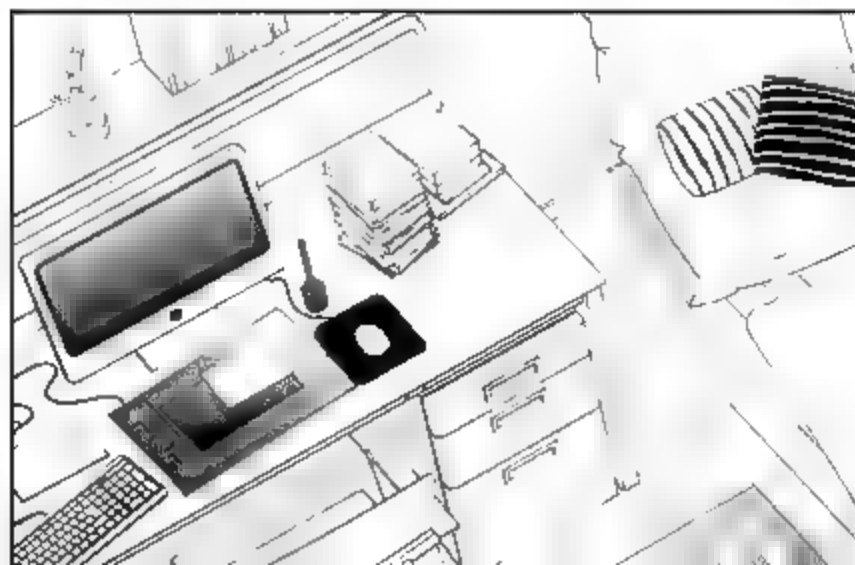
み…見た…？
ごめんなさい…覗くつもりはなかったんだけど…
ノートが落ちちゃったから拾おうとしてそれで…
だけど天空寺さんって絵上手いのね
ちょっと意外

まだここの誰にも見られたことなかったのに――
バレたからには…
ゴゴゴ
雲母ちゃんの恥ずかしい格好を撮って口止めするしか…
なっ…なんでそうなるの!?
……だって…知ってるもん…
皆と違って宙のHネルギー源だけ変だって…
分かってるけど…好きだから止められなくて…
気付いたら自分でも描くようになってて…
他の皆にもバレたら絶対笑われる…

そんなことない
！
誰にだって人に言えない趣味や過去を持つこともある…
私にもそういう経験があるから気持ちはよく分かる
だから無理に止める理由なんてどこにもないよ
それに自分で言えるようになるまで誰にも言わないから
約束する…ね…？

わかった…許したげる

その代わり…

宙の一番恥ずかしい物を見たからには…

雲母ちゃんの恥ずかしいトコも見せてもらうから

裸婦デッサンのこと――!?
ま…まさかとは思ったけど頼み事って…
今描いてる漫画のキャラのイメージが雲母ちゃんそっくりなんだけど
やっぱり実物を見ないと上手く描けなくて…
今朝のアレはそういう意味だったのね…
ひしし

ねぇ
シーツでよく見えないんだけど…
！
だ…大丈夫…
はっ
これはデッサン…つまり芸術
何にも恥ずかしがることなんてないんだから…！
わかった…
私の身体で良かったら好きなだけ参考にして
それで…どんなポーズすればいいの…？
ホント？
それじゃあ——

!!?
ん？
宙ちゃん…このポーズはなんなのかな…？
ドジな女の子が滑って胸に縦笛が挟まっちゃうシーンの参考に…
どんな漫画!?
例えば…

ガチャ
え…炎城!?
もー我慢出来ない…!
俺が隣の部屋に居るっていうのに星乃にそんな格好させて…
本当は誘ってるんだろ…?
っ…!?

ドキッ
責任・・・
取ってもらうからな

みたいな漫画なんだけど…

ハァ

ハァ

よ…要するにHな漫画ってことね…

びっくりした…

そういえばこの子もここのメンバーだったっけ…

だけどちょっと意外…

い…言っちゃった…

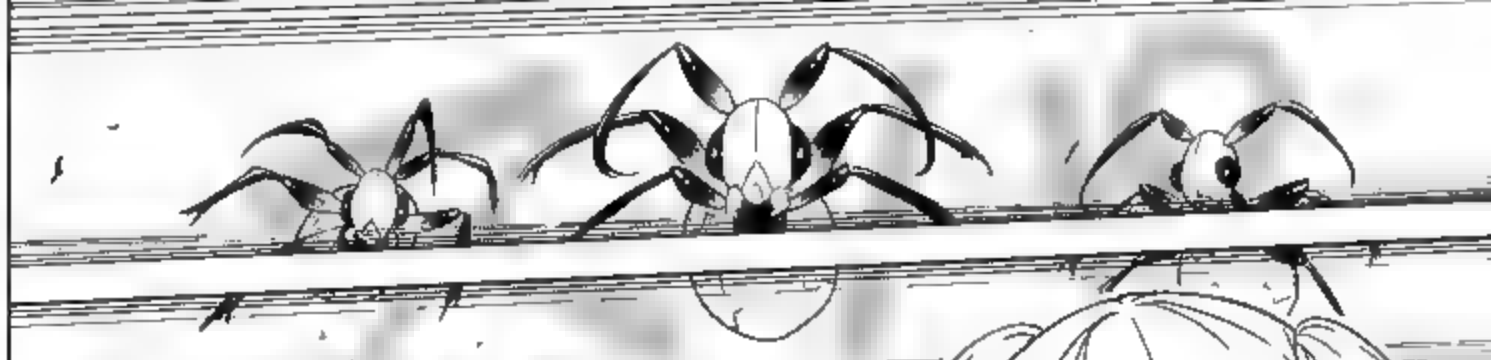
この子もこんな表情するんだ…

そう思うとちょっとだけ…今日は手伝って良かったかな…

緊急警報発令
市街の本屋にキセイ蟲が出現
隊員は直ちに出動して下さい
なっ…何…!?
だーだーだだだっ
行くよ雲母ちゃん
支度して
おいっ聞いたか今のっ!

ハッ
!
ピ…
ゴッ
なに女子の部屋にノックもなしに入って来てんのよ……!!!
わ…悪い…急いでて…
シュウウウぅぅ…

天空寺
行けるか?
う…うん!
ずいっ
本

ここが如何わしい本を人間共に多く提供しているという店ね
なんでこんな地味な場所が選ばれたかしらないけど
女王様の意志によりキセイする
お行きなさい小蟲達
ぼ
ぼ
ぼっ
キキキー
ガジガジガジ
な…なんてことを…！
ただでさえうちは経営難だっていうのに…!!
け…警察〜っ

!
ここは…
なんなの…これ…
どうした天空寺…？
宙のお気に入りの本屋
それをこんなふうにするなんて…
ギャッ!?
許さない…

キショッ!?
エグゼロス!?
こんなに早い
なんて聞いて
ないわよっ…!
ぐぬ…
お前達ッ!
後は任せた
わよ!
キッ!
だっ
逃げた!?

アイツは俺が追う！
だっ
ここは頼んだぞ！
だから私はまだ無理だって――
大丈夫…
ぱぁっ
!?
キ
キ
キ
キ
ぱぱぱっ

ボッ!!
イイイイッ
ボム!!
宙ちゃん…その姿…
これ?

宙のH×EROS
そんなことも出来るんだ…
パウーッ
Hネルギーを翼の形に具現化してるの
イメージさえしっかり出来ればこれくらい簡単
だけどこれは流石にちょっと
きゃああっ！
多すぎかも…！
!?

ひいいっ
まだ人が──
ばっ
ドッ
キィィィ

？？
ててて…
あ…ありがとうございます…
大丈夫雲母ちゃん!?
能力が使えなくたって
コレくらいは出来るんだから
ここからは宙に任せて
その人を連れて下がってて
さこっちへ
はっ…はい！
今日はありがとう雲母ちゃん——
今まで自分の絵なんて恥ずかしくて見せたことなかったけど…

褒められるのって
こんなに気持ち
よかったんだ…♡

天空の閃光

キィィィィィィ
すごい宙ちゃん…！
スッ
ええお疲れ様
あ…
ザワッ
パッ

ぱん
ササッ
……はい 女王様…
こちらの目的は完了しましたので すぐに戻ります
終わったよ 雲母ちゃん
……あれ…
雲母ちゃん…？
しーん

キオオオオオ
ボオン
ガチャッ
！
ぱっ
そっちも片付いたか？
烈人くんっ…!!!
!?

天空寺っ…!?
お前 着替えは
ーー
それより
雲母ちゃんが
ーー
雲母ちゃんが……!

女王様
エグゼロスの中で唯一無害だと思われる人質を無事確保しました
ちゃんと要求は伝えた？
はい
この人間のHネルギーを吸い尽くされたくなければ
仲間を連れてここに来いと…
よくやったわ

それでは
迎撃の準備に
入って頂戴

エグゼロスさえ
排除出来れば
計画は次の段階へと
進められる

キセイ
による

人類の
キヨセイ

待ってる
星乃──

どきゅうへんたい
ド級編隊
エグゼロス
HXEROS

Extra Gallery

番外ギャラリー（ばんがい）

ド級編隊エグゼロス

HXEROS

第8話
ごめんね皆…
宙が付いてたのに…
天空寺…お前のせいなんかじゃない
誰もキセイ蟲がこんな手に出てくるなんて思いもしなかったんだ
そうですよ
それに星乃さんが心配なのは皆同じです
ね？百花ちゃん
びくっ
！
せっ…せやな！
どうしたんだ桃園？
いや…何でもあらへんよ…？

アカン……!!!
さっき一発無駄打ちしてもうたせいでこのままじゃ全然闘えへん…!
…せや
なぁ皆
このまま言われた通りに行って簡単に助けられると思うか?
罠かもしれへんし
……確かに…
万全を期して今からでももっとHネルギーを溜めてった方がええんとちゃうか?
でもどうやって……
ウチに任しとき
剣人はそこで待っててな
おっおい

へええっ!?
…本気ですか…!?
そんなので溜まるなんて百花ちゃんだけだと思う…
なっ何弱気なこと言ってるんや二人共!
仲間を助ける為に最善を尽くすのがHEROってもんやろ!
ばっ
そっ…それは…
……わかりました…!
私も覚悟を決めます…

ガラ
こんな時に何やってんだ?
ビクッ
ドキッ
ギクッ
あの…炎城さんこれ…
?
ごそごそ
…これ…百花ちゃんが帰って来るまで預けるようにって…
ほくほく
!?

ドヤ 烈人？ウチらは見られそうで烈人は見えそうでHネルギーが溜まる
これぞWin-Winの関係やろ？
お前だけな
ぴと
なーんや…残念やな二人共
!?
あとな…危ない時はちゃんと言えよ…？
!
きゃあっ！
ぴらっ
いっ…いいから早く行くぞっ！
俺で良ければ盾くらいにはなるからさ
炎城さん…
烈人くん…
なーに カッコつけてんねん
ぽあっ

盾になるとはいったものの……
たたんっ
たたんっ
この状況は流石に――
第8話 エグゼロス・ライジング

くっ…
あなたも同じ人間でしょ!?
なんでキセイ蟲なんかに協力してるのよ!
!?
あら?
私がいつ自分が人間だなんて言ったかしら…?

中には人間社会に紛れて内側からキセイしてる仲間も居るくらいよ
まぁ…知った所でもう手遅れでしょうけど
擬態と言ってね…キセイ蟲は惑星の生態系に合わせて姿を変えられるの
そんな…
私は女王様に直に報告してくるから
しっかり見張ってなさい
わかりました
ガコン
ともかくどうにか脱出しないと

こんな時にH×EROSが使えてれば…
ぎゅ
そうだ…！
ねぇそこのあなた…
あなた達は私にHネルギーが溜まると困るんでしょ…？
はーっ
はーっ
私縛られてるとドンドン溜まってきちゃうんだけど…
このままで良いのかしら？

ちっ…コレだから人間って奴は世話が焼ける…
しし
解くけど妙な真似するんじゃないわよ？
ブッ
ええいッ！
キョ!?
はあっ…はあっ…
全く なんて真似させるのよ…！
とにかくどこかに隠れないと…

んん〜〜〜ッ
はぁ…はぁ…良かった…
誰も居ないみたい…
……人間…？
はぁっ…これからどうしよう…
人間なのだ〜〜〜っ♪
はーホントに柔らかいのだー♡

はっ!?

きゅ〜〜っ

ご…ごめんなさいなのだ…!

ぽっ

人間を生で見るのは初めてで つい…

あなた…一体なんなの……!?

キセイ蟲の仲間!?

何…この反応…

本当にキセイ蟲…?

ボクは〝チャチャ〟
もそっ
女王様の第一子…つまりは ここの王女様なのだ！
ただ…ボクは千年に一度生まれるとされる忌み子…
生まれて此の方ずっとここに閉じ込められているから
仲間かというと少し違うのだ
閉じ込められてるって…
あなた達同じキセイ蟲じゃないの…？
残念ながら向こうはそう思ってないようなのだ…
この通りボクは一族の突然変異…
閉じ込められてるのは多分…同胞とは真逆の体質だからなのだ…

あの・・アナタを良い人間の雌君と見込んでお願いがあるのだ・・・！
キララです・・・！
ではキララ
ボクをここから出してくれないだろうか？
この惑星は面白い！
支配種の交配が他の種族よりもこんなに複雑なのに栄えるなんて聞いたことないのだ!!
特に この国の「ひるどら」とかいう番組がお気に入りなのだ!!!
へ…へえ…詳しいのね…
知っているかもしれないのだが同胞は人間を滅ぼそうとしている…
ボクは なんとしてもそれを阻止したいのだ

同胞のことを許してくれとは言わないけれど
どうか協力して欲しいのだ…！
わかったわ…だけどここから脱出したいのは私も一緒…
一緒に策を考えましょう
！！
なるほど…
ということはキララにHネルギーが溜まればすごい力が出せるようになるのだ？
そ…そういうことになるわね…
それならボクに任せるのだ…♥

言ったのだ？
ボクは他の同胞と真逆の体質の突然変異なのだと
ボクは他の種族がHネルギーを感じやすくなるフェロモンを放出出来るのだ
ふわっ
はっ…はぁっ…
なにこれ……!?
だからHネルギーの補充
ボクが手伝うのだ♡
ぞくっ
凄すぎッー
ぞくっ
ぞくっ

ブロロロロロロ…
HXEROSによるとこの近くみたいだな…
大丈夫か……？
うん　なんとか…
ここか

で
どうやって攻める…？
そりゃあもう正面突破しかないやろな
ですね
うん
折角Hネルギー溜めたんだし…
うずうずうずうずうずうずうず

烈人は先に雲母の所へ

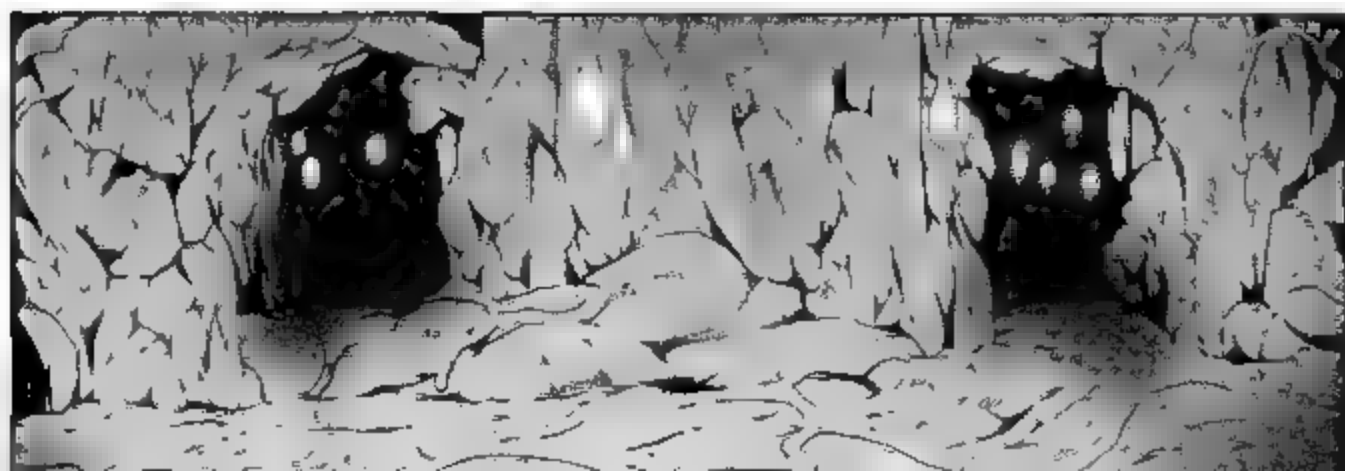
ウチら女子は少し暴れてから向かうわ

なんで別行動で…

言わせないで下さいっ！

そっ そういや戦闘は男女別って決めてたな…！

絶対全員一緒に家に帰るぞ

でもまさか貴女が人間如きに気絶させられるなんてねー
う…五月蝿いわね…！
少し油断しただけよ
ん？
ラマーズ砲
ぼっ
!?
天空の閃光

奴ら…っ
本当に来やがった…！
ドドッ
全員 今すぐここに――
さーて
宙舞姫
ウチらの大切な友達に手を出したらどうなるか
ザザザ
ザザッ
ど――ん
キシャ――

キセイ蟲共に教えてやらへんとな…
待ってろ星乃…！

はあっ
はあッ…
うくん…
全く反応しないのだ
ええ〜〜〜…っ!?
もう駄目…
キララよ
お主ちゃんと想像したのだ?
想像って何を…?
子種のことなのだ

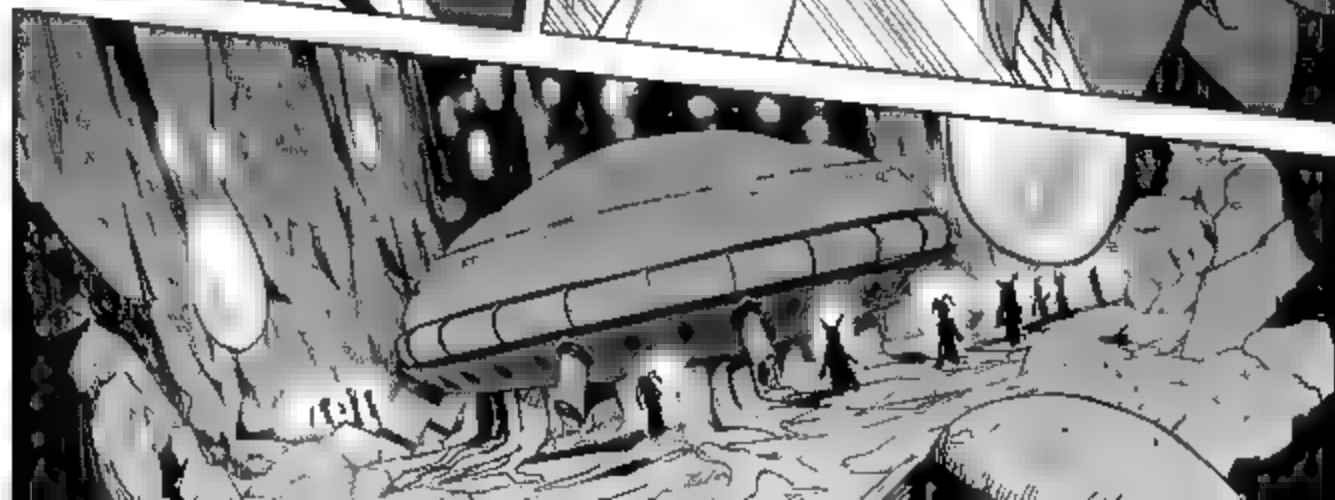
ななな何言ってるのよ
ばっかじゃないの!?

…なぜなのだ？

人間は有性生殖なのだろう？

生存本能に何を恥じることがある

もう少し自分に素直になるのだキララ

あのね…人間には恥じらいって感情があんの

エグゼロスは入り口方面よ！
……！
早く行きなさいっ！
今のって…
どうしたのだ？
まさか皆が…
来てくれた……!?
チャチャ！私達…ここから出られるかもしれない…！
がしっ
ホントか…!?
ホントにここから出られるのだ…!?

それは無理ね
どうりで見つからないと思ったら…
こんな所に隠れてたのね・・
人質の出番よっ来なさい！
いやっ…！放してッ
ヤメロっ！
キララから手を離すのだ！

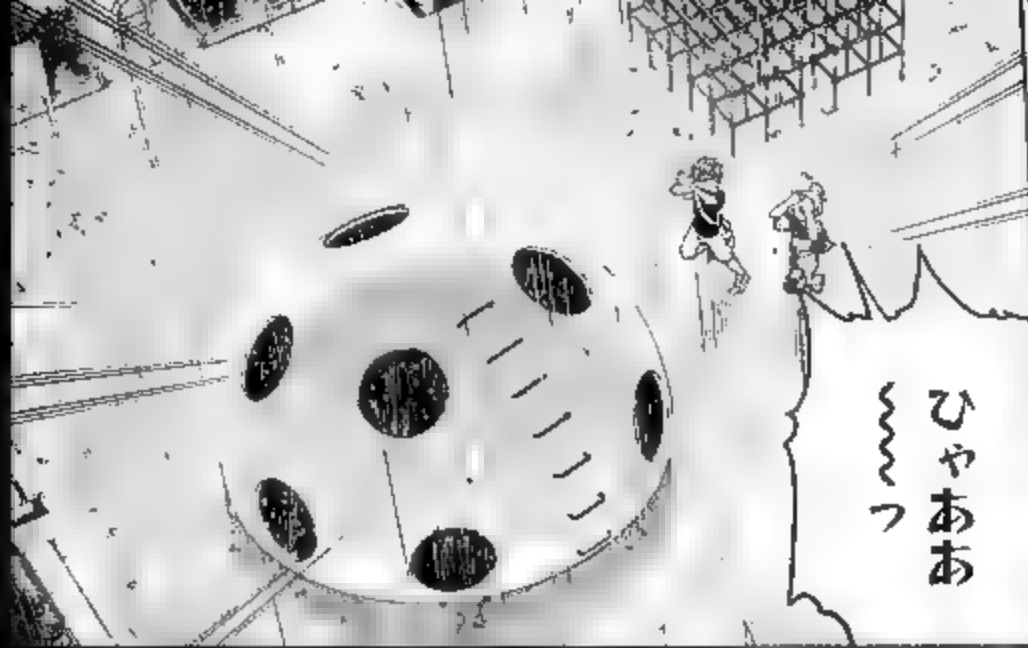
のだッ
これはこれは王女様
けほっ
まさか人間に手を貸すおつもりではないでしょうね…？
ドリュオッ
…だったら何なのだ…!?
最初からボクを仲間だなんて思ってないくせに…！
ええその通りよ
突然変異なんてモノは環境に適さなければ淘汰されるのは自然のこと…

女王第一子という
お情けで生かされ
てるということを
お忘れなく 王女様
ま…
待ってて
チャチャ…！
きっと…
助けに来る
から――
ガチャンッ
キィ
ここが…
そこまでよ
!?

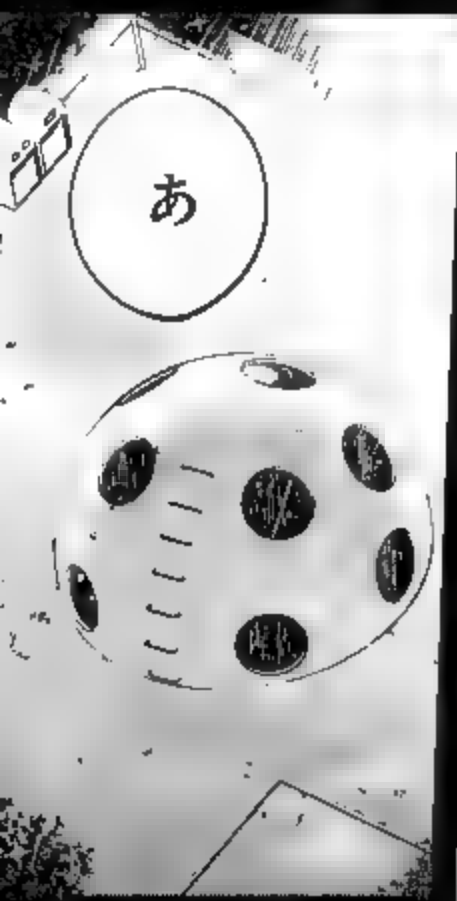
大人しく投降なさい
さもないとここに居る同志全員で
この雄が生きる気力が無くなるまでHネルギーを吸い尽くすことになるわ
星乃ッ!?
や…やれるもんならやってみなさい…
私はそんなものに屈しないんだから…!
キショショっ!真っ赤じゃない
もしかして体験済みなのかしら…?
かわいそうに…二度もこんな目に遭うなんて

わかった……
これが俺達の力の源…H×EROSだ
これがないとキセイ蟲と闘えない
これを外すから
カチャ…
星乃には手を出すな…
何言ってんのよ…
あんた こいつらが許せないって言ってたじゃない…
あぁ…
だけど同じくらいあの日星乃を守れなかった自分自身も許せなかった…
だからもうあんな思いはしてほしくないんだ…

それに今でも後悔してるんだ…
なんであの時この一言を言ってやれなかったんだろうって…
炎城…
Hネルギーが多いからって恥ずかしがることねーよ…
…いや…
むしろアリだと思う
なっ何こんな時にふざけたこと言ってんのよ！
………
ふざけてなんかない…！俺は本気で――

だから早く
そんなやつぶっ飛ばしてやれ
もう少し自分に素直になるのだ
自分に、素直に、
私だってそんな頃もあったのに…
なんで忘れてたんだろう…

ぱしゃっ
ひゃああ〜〜〜っ
あーもー
びしょびしょ…
この調子だと
今年の七夕祭りは
中止かなー
ザァアアアァァ
え〜〜〜…
せっかくおめかし
してきたのに…
伊達と朝奈には
悪いけど
止むまで雨宿り
すっか…
………

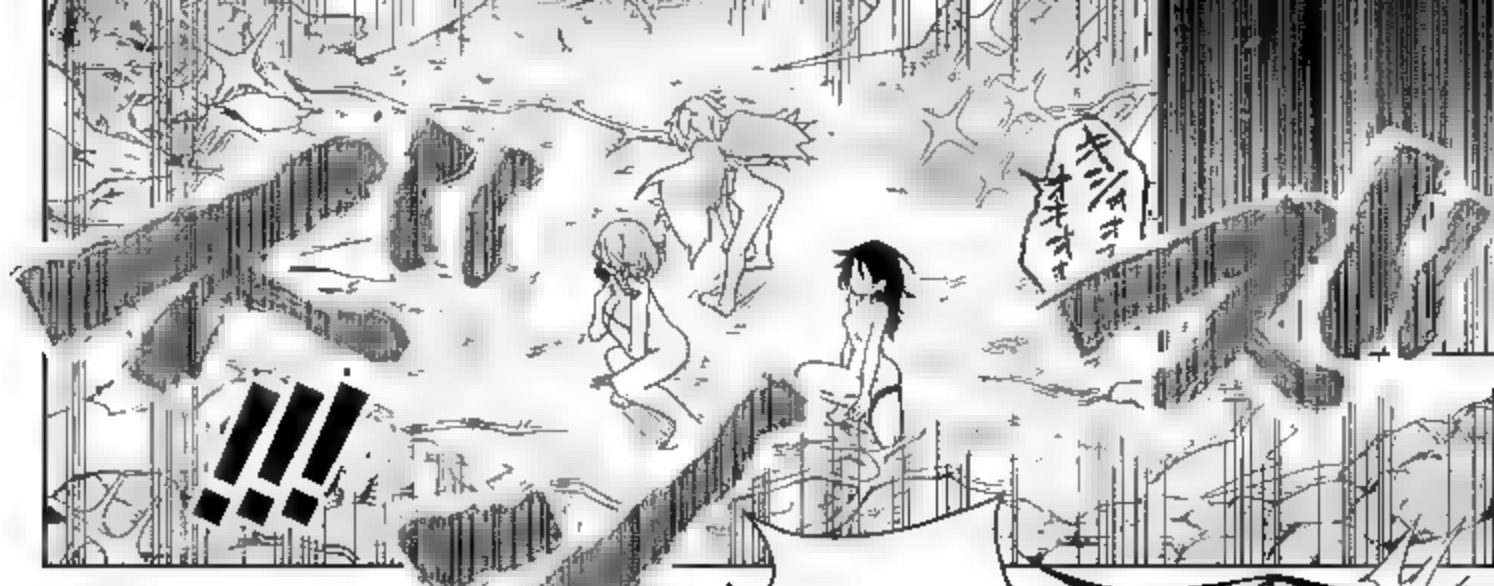
ねぇ れっくん
〝サマーバレンタインデー〟って知ってる？
七夕の今日もバレンタインデーと同じで女子が好きな男子にお菓子をあげる日なんだって
へ…へー そうだったんだー 知らなかったなー…
それはそうとちょっと小腹が空いたかもなー なんて…
あれー何その反応ー？
欲しいならそう言えばいいのに
ニヤニヤ
はい欲しいですっ！

てへっ
ゴメン☆
持ってくるの忘れちゃった
何その
あからさまに
残念そうな顔
べ…別に…
そんな文化
まだ日本に定着
してないし 悔しく
なんてねーよ…
またまた
強がっちゃ
ってー
………
それじゃあ
もし雨が
上がったら

お祭りで
買ってあげても
いいけど…？
あ
お祭り…
あるかもね
好きな人と
両思いになれ
ますように
きいろ☆

そうよ…あの頃の私が思い描いてた高校生活は
こんなのじゃない…

彼氏作って放課後はデートしたり
休日は家で二人っきりで過ごしたり
もっともっと充実した毎日を送るはずだったのに…！

あんた達の所為よ…！
あんた達さえ居なければ…

いつかは告白…
出来たかもしれないのに──
キショ？

キシャオォ
オオオォ
なんや今のHネルギーは……!?
もしかして…
雲母ちゃん……?

星乃っ…!!
大丈夫か!!?
ばっ
ふらっ
あはは…力抜けちゃった…
ありがとうれっくん…
それで…
一つ…頼みがあるんだけど…
……!
!?

何やねんコレっ!?
雲母ちゃん! 大丈夫っ!?
私は平気…まずはここから出ましょう…!
ゴゴゴゴゴ
そういえば炎城さんは……!?
あいつなら大丈夫
キララ…上手くやったようなのだ…
これでボクにも…
生まれた甲斐があったというものなのだ…

!!!
星乃から話は全部聞いた
一緒に行くぞ!
チャチャ

ゴゴッ
ゴゴゴッ
ズウゥゥゥン…
炎城〜〜！
炎城さ〜ん！
烈人く〜ん

……どうしよう…
全部私の所為だ…
大丈夫きっと烈人は無事や
それに雲母のお陰でキセイ蟲を一網打尽に出来たんやから元気出しいや
ついに私達…
キセイ蟲に勝ったんですね…！
だ…誰かッッッ…！
この声…！
炎城っ!?

はらり
ほーコレが人間のオスというものか…
こっちはメスと違って固いのだ…♪
はあッ…!?
しし
!!!!????
雲母がもう一人!?
みっ皆落ち着いて…!
あの娘はキセイ蟲だし味方だから…
へーなるほど……
ってどういうことやねんっ!!

お主たち…さっきキセイ蟲に勝ったとか言ってたのだが
巣を壊しても母上を倒さなければ無意味なのだ
ただ我々を倒せる人間が居たとは気に入った
プシュー!!
だから――
今日からボクがお前たちのHネルギーを鍛え直してやるのだ♡
エグゼロスのメンバー
現在人間5名
そんなことよりなんで私に既述してるのよ〜〜〜〜〜〜〜!!
のよ のよ のよ
+キセイ蟲1体――

どきゅうへんたい
ド級編隊
エグゼロス
HXEROS

Extra Gallery
番外ギャラリー

第9話
新たな同居人(?)

……起きた？
やっと…
一緒になれたね…
さてと…そろそろ起きなくちゃ…
むくっ
ぐいっ
なぁに～
また我慢出来なくなっちゃったの…？

もう…
しょうが
ないなぁ…
あんただけ
なんだから…
こんなこと
させるの…
っ…
ちょっ…
がっつき
過ぎ…！
キュッ
やッ…
ちはっと、
どこ触って
——
ビクッ
ビクッ
〜〜〜〜ッ

やっぱ無理〜〜〜ッ!!!
急にどうしたのだ キララ!?
※チャチャ(擬態中)
別にこんなこととの練習なんて頼んでないし…
そもそも私にはまだ早いから…!
チラッ
?
じーっ
なぜなのだ?
途中まではノリノリだったのに…
そんなことないからっ!
っていうか…

ここでは人に擬態するのは禁止って言ったでしょ！
しゅんしゅん
言われた通りルンバちゃんに擬態しなさい！
そもそもこんなことしなくたってキセイ蟲をやっつけたならもうHネルギーなんて溜めなくていいじゃない
あーそう言えばそうだったのだ
前にも言ったのだ
母上を倒さない限りキセイ蟲の活動が止まることはないと
それにキララが言ったのだ
ボクが必要だって
そりゃあ確かに、昨日はああ言ったけどさ…

前日──
地球防衛隊サイタマ支部──
いやぁ良かった君たち…
心配してたんだよホントに
ごめん叔父さん…
やっぱ連絡すべきだったよな…
それにしてもまさか雲母くんが──
あの時は星乃を助けに行くことしか頭になくて…
いやいや…むしろ無事でよかった
BANANA

二人になって帰ってくるなんてね
ニコ
でもホントに彼女がキセイ蟲なのかい……？
コスプレした双子のギャルじゃなくて？
……
……見せてあげてチャチャ
かしこまったのだ！
にんげんこじきしまお
HUMAN BEINGS
ギャーー
ガバッ

おお…！
ストトッ
わきーんっ
ま…まさかとは思ったけど…
じろ
どうやら本物みたいだね…
どれどれ細部の方はどれくらい…
ペロ～ん
エロオヤジこらアッ！
冗談冗談…ともかくこれは対キセイ蟲にとって重要な第一歩だ
まずは研究材料として隔離して検査しないと…
！

あのっ…！
私は ただ…この娘に外の世界を見せてあげたかっただけで…
星乃さん…
お願いです…隔離とかそういうのは無しにしてもらえませんか…？
雲母…
そう言われてもなぁ…いくら友好的だからってキセイ蟲を野放しにしておくのは危険すぎるし…
あっ 後一つ言い忘れてたんですけど…
チャチャの体質はキセイ蟲と全くの正反対で
だから私達と居れば今までよりもっとすごいHネルギーが溜まるようになるかも——
その通りなのだっ…！
はっ!?
BANANA

びたーん
のだっ！
たたた
のた…
ずるっ
いやあああ
ああああ
ああああっ
なんや
烈人みたいな
やっちゃな…
どこが
だよ…
TOUCH ME

ブラボーブラボーブラシーボ！
パキパキ
まさか あの雲母くんが心を入れ替えてこんなに身体を張って訴えてくれるなんて…
おじさん感動したよ！
確かに君達と一緒に居るのが一番安全かもしれないね…
今日の所は連れて帰りなさい
その代わり
さっきのHネルギーの話よろしく頼むよ
任せるのだ！
大丈夫かなぁ…
しし

全くキララは恥ずかしがり屋なのだ…
ボクは早くこの能力を役立てたいのに…
もう…前みたいに〝不要〟扱いされるのは嫌なのだ…
ガチャッ
ん？
おはようチャチャ
よく眠れたか？
俺なんて昨日の疲れでまだくたくただよ…
今日が日曜でホントよかった
そう言えばボク…
昨日この人間に助けられたのだっけ…

よし…今度はボクがこの雄殿のお手伝いをするのだ！
レットと言ったかな…？
一つ聞きたいことがあるのだ…
ふんっ
ズバリお主のHネルギー源は何なのだ？
へっ？
そっ…それは考えたこともなかったな…
いつも気付いたら溜まってるって感じかな…
ははは
ふーん…
ボクが代わりに見つけてあげるのだ
それじゃあ
ギャワ…
!?

ニュウゥゥゥゥゥゥゥ
…なんだか視線がめっちゃ低いような…
…一体…何が起こったんだ…？
!!??
ドーン

ボクが擬態するとキララに怒られるからレットの感覚をボクに合体させたのだ
はぁ!?
触手に変身させたり擬態したり合体したり…
なんでもありかこいつら…!
っていうかあれ…?
声が出せないし…身体も動かせないんだけど…
それな
人間は恥ずかしがると感情とは別の行動を取ってしまうようだから
ボクが直々に探ってやるのだ
さあレットのHネルギーの源を探りに出発なのだ——!
ダッ
ええ〜〜〜っ!?

ガチャ
さて…まずはこの部屋から
はぁ…
この姫君の名前は何なのだ？
名前は白雪舞姫
ここのメンバーにしては一番おとなしくて大人な奴だよ
はら？
あの…
ひぃっ キセイ蟲さん!?
な…何の用ですか…？
なんだかとても警戒されてるようなのだ…

それに白雪は
キセイ蟲が
苦手だからな
……
早く諦めて
元に戻せ
にゃーん♪
そんなのが
通用する訳…
や〜ん
かわいい〜♡
白雪の奴…
いつもと全然
キャラ違うじゃ
ねーか…！
なぁに？
お姉さんと
一緒に遊びたい
の〜？♡
っていうか
身体が動かせ
なくても五感が
繋がってる分―

まるで俺が白雪に抱かれてるような…
はッ!?
ヤバいヤバい…こんなことでHネルギーを感じる所だったぜ…
恐るべき白雪…!!
なるほど…
これじゃあ全然物足りないと言うのだな?
それじゃあ
ガバッ
!?

もうっ…
…まるで
ルンバちゃん
みたい…
やぁやぁ
やぁやぁ
ペッ
あっ
あの…
そんなに
じっと見られると
恥ずかしいん
ですけど…
ドキ
ドキ
お…おい
チヤチャ…
俺の身体で
何をする気だ
…!?
やめっ…

はあんっ
！
ぱっ
…何…
今の…？
ルンバちゃんの時とは全然違う…
やっぱり星乃さんの言った通り…
チャチャちゃんの能力は本物だったんですね…!!♡

はーっ♡
はーっ…♡
ビクッ
ビクッ
しまったのだ…
レットのHネルギーを探るはずが
ヒメメのHネルギーを刺激してしまったみたいだのだ…
舌に…舌に白雪の胸の感触が…
しかし人間って不思議な生き物なのだな
生殖とは無関係な行為で発情出来る生物など今まで見たことがないのだ
仕方ない…次の部屋に行くのだ
まだ続ける気かよ…！

なんや？
一緒に遊んで欲しい？
のだ！
すまへんな
ウチ 今美容ストレッチで忙しいねん
ならボクが手伝うのだ！
おいおい 趣旨違くなってないか…？
せやなぁ…
ストレッチ

そんじゃ折角やし手伝ってもらおっかな
ただし…
一つ条件があるんやけど…
これで良いのだ?
ええやん!

一度でいいからナイスバディの自分が見てみたかったんやー
ホンマおおきになー
悲しすぎるぞ桃園…！
ズリ
ズリ
美容ストレッチ特集
ごろ〜ん

あーそこええ感じや…！
もう疲れたのだ！
女の身体で女子をマッサージするなんて…
なんか変な感じだ…
しかも…
やたらと無防備だし…
んっ…♡
はぁッ…はぁ…ッ
なんだか身体が熱くなってきてもうた…
おいチャチャなんか桃園の奴変だぞ…!?
今回はまだ何もしてないのだ…？
あ

多分 汗が付いた所為なのだ…
そういえば…
汗にも同じ効果が!?
もっといい記事を見つけたんや
ここも押してくれへんか?
バストアップのツボ…♡
ドキ
ドキ
天渓
膻中
乳根

効くッ
はーっ…
はーっ…
も…もう十分だろチャチャ…
早く俺を元に戻してくれ…！
ゼハッ
ゼハッ
いや…そんなHネルギーじゃまだ十分とは言えないのだ…
それに…
おい
ボクもなんだか楽しくなってきたのだ…！

ばあんっ
ボクと遊ぼうなのだソララ!!
うわあっ!?
ノ…ノックくらいして…!
ん? 今何か隠したのだ?
何も隠してないっ…
いくや何か後ろに隠したのだ
だから隠してないってば…!
おいっ止めとけって…天空寺も嫌がってるだろ…!
あっ!

アーーン
なんでぇ〜〜〜ッ!!!♡

ヒメメにモモカソララ…
しかし肝心のキララが見当たらないのだ…
……わかったよ…
全部白状する…
だからもうこんなことはよしてくれ…
!
さっきはHネルギーなんて興味がないフリをしたけど
俺は本当は星乃のことが——

好—
キララ こんな所で裸で何をしてるのだ？
お風呂だけど… 地球のテレビが見れてたんなら知ってるでしょ？
ほー ここが！
なんなら一緒に入る？
へ？

あ〜〜っ
一度でいいから
こうしてみた
かったのだ〜♪
もう…
もとに戻るのも
いいけど　ここの
人以外に見られ
ないようにね？
まさか…
チャチャの
身体でとはいえ
あの星乃とまた
一緒に風呂に
入ることになる
なんて…
あ

おいチャチャっ早く風呂から出ろッ！
あー？どうしたのだ？
星乃っ!?
汗が触れるのもマズいのに一緒に風呂なんかに入ったら…
私もうそろそろ上がらないと
ザパァ

チャンスなのだ
!?
お主はキララが好きなのだ?
やっぱ聞こえてたのか…
ここで今朝の続きをすればレッドとキララ両方のHネルギーが溜まって…
ぐいっ
おい・何する気だ…!?
一石二鳥なのだ
やっ…やめ…

あれ　そこに居るの？
れっくんっ

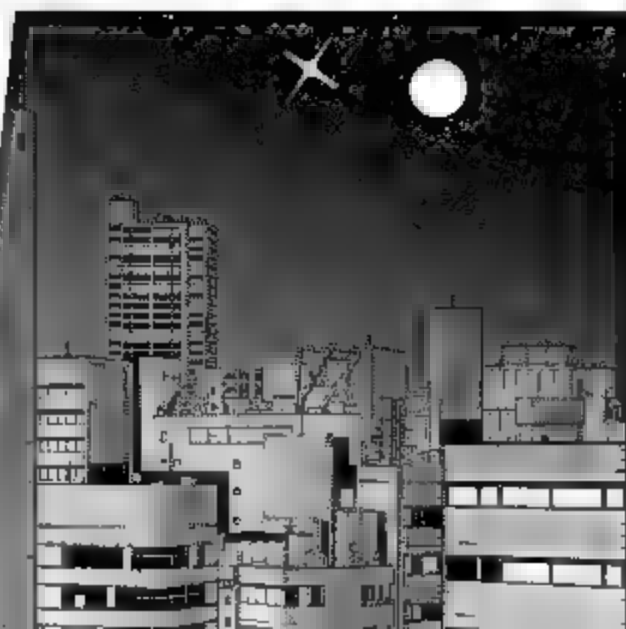
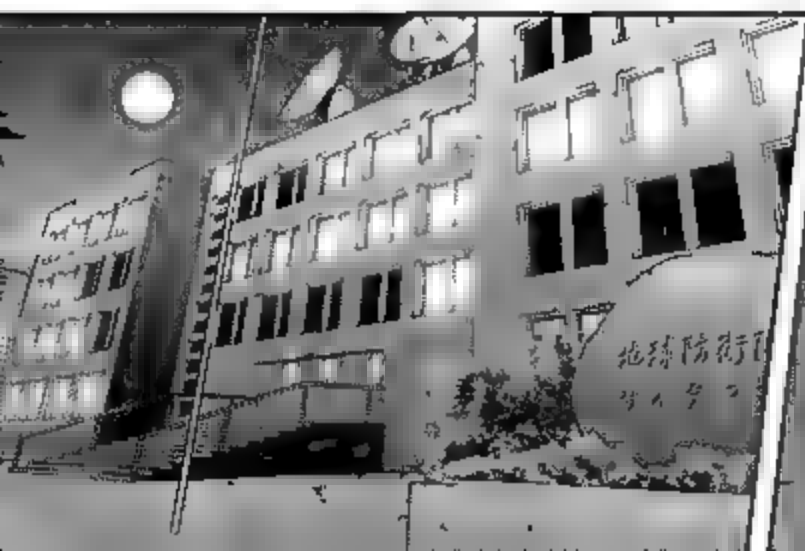
やっ…
やっぱり無理だッ…
やっぱり俺…星乃とこういうことは…
ちゃんと自分の力だけでやり遂げたい…
俺のこいつへの気持ちは
Hネルギー目当てじゃないんだから
ガッ

も…戻った…！
ぱぁぁ
この雄殿…
強制的にボクとの擬態を解くなんて…
なんという固い決意と、強いHネルギーなのだ…！

!?
なるほど…あんたもチャチャとグルだったのね…
ええそうよ…昨日のお陰で
きちんと使いこなせるようになったみたい
ほ…星乃…これには深い訳が…
ていうかソレッ…!?

だから覚悟してね？

ギャアアアアー

アアアアア…

どうやらコッチがキセイ蟲の巣の破壊と捕虜の確保に成功したらしく
暫くはキセイ蟲の侵攻は食い止められそうです
やっぱり頭の固い〝トーキョー支部〟は
いえ…それはまだ確認出来ていません
はい……はい……
では失礼します
ぐるぐる
うーん…まいったな……

キセイ蟲を
仲間にするなんて
許さないか…

烈人と雲母がドキドキの買物デートに!?

待ったか星乃

ぽんっ

ハダカよりエッチかも？

ほら

今日だけだからね

素直な雲母の可愛らしい一面も♡

なんや…今日はやけに身体が——

アレっぽい気が…

一方、百花は窮地に立たされていた!!

彼女の身体に生じた異変とは…!?

ド級編隊エグゼロス

HxEROS

JUMP COMICS SQ.

第3巻

2018年4月発売予定!!

※2017年12月現在の情報です。

ド級編隊エグゼロス

2巻

きただりょうま

© きただりょうま 2017, 2017

初版発行　　　　2017年
デジタル版発行　2017年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

EXTRA PAGES

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

EXTRA PAGES

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

EXTRA PAGES

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。